

3 他地域と結び付いて発展する産業

○自然環境を生かした農業

オーストラリアの農牧業：肉牛の飼育が盛ん

- ┌ 降水量が多い南東部：(**フィードロット(肥育場)**)で肉牛の飼育
- └ 乾燥の厳しい内陸部：放牧で肉牛の飼育
- └ 南東部・南西部：羊の飼育→化学繊維の発達により、現在では羊毛の生産が減少

ニュージーランドの農牧業：乳牛・肉用の羊の飼育が盛ん→乳製品や羊肉を輸出

オセアニアの農業：北半球と季節が逆であることを生かした農業(北半球の**端境期**に合わせた栽培)

- ┌ オーストラリア南東部：アスパラガスやブドウなど
- └ ニュージーランド：カボチャなど→日本などへ輸出

○鉱産資源の輸出が盛んなオーストラリア

オーストラリアの鉱工業：(**鉱産資源**)が豊富 北西部：鉄鉱石 北東部・南東部：石炭
→鉄道で港に運び、日本や中国・韓国などへ輸出

輸出相手国の企業との協力：北西部のピルバラ地区の鉄鉱石の開発や、天然ガスの開発など

○アジアとの結び付きを強めるオセアニア

オーストラリア・ニュージーランドとアジアの国々との交流
→観光だけでなく、修学旅行や留学・仕事などで交流が進む

オセアニアの国々の貿易：ヨーロッパよりも距離の近いアジア諸国が重要な相手国

→(**アジア太平洋経済協力(APEC)** **)により、アジアとの結び付きを強化

※(**アジア太平洋経済協力(APEC)**)とは、太平洋を囲む 21 の国・地域が参加する経済協力組織のこと

＜オーストラリアの貿易相手国の変化＞

1965年 合計 63 億ドル		1985年 合計 459 億ドル		2018年 合計 4883 億ドル	
イギリス	22.1%	日本	24.5%	中国	29.8%
アメリカ	17.3	アメリカ	14.9	日本	12.0
日本	12.9	イギリス	5.1	アメリカ	7.0
西ドイツ	4.4	西ドイツ	4.5	韓国	5.7
ニュージーランド	3.8	ニュージーランド	4.1	インド	3.4
その他	39.5	その他	46.9	その他	42.1